



# GPS型徘徊感知機器

いつも

# ITSUMO



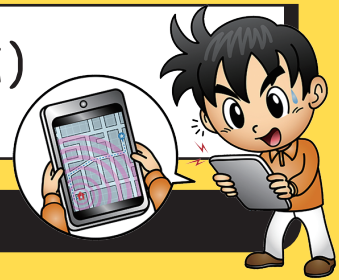
## を使用した徘徊模擬訓練の企画(ご提案)

認知症高齢者の徘徊問題は、全国の各自治体とも対策に苦慮されています。

一方で、GPS型徘徊感知機器ITSUMOを使用して徘徊模擬訓練を実施し、事業所や住民の意識改革を行ってられる自治体もあり、その成果も徐々に見えてきています。

## 認知症高齢者みまもり訓練(仮称)

※ 基本的に徘徊という言葉は使いません



### 訓練の内容(一例)

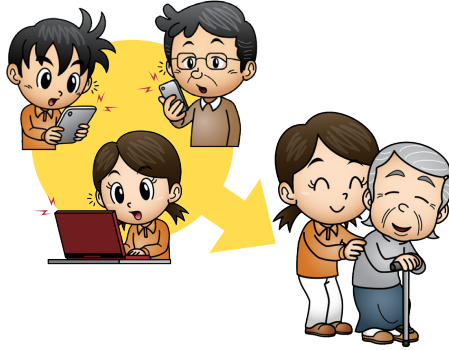
#### ① 説明

集合・挨拶・流れの説明・機器説明。



#### ③ 訓練中

本部では徘徊役の位置情報を検索し、近隣事業所に保護依頼連絡。搜索役は位置検索しつつ後を追う。それぞれ保護すると、仕切り直してもう一度訓練開始。



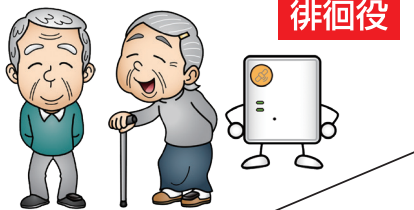
ITSUMOをつけた複数の徘徊役を、スマホを持った複数の搜索役が位置検索をしながら後から追い、保護します。これとは別に、本部でも位置情報を検索し、近隣のSOSメンバー事業所に徘徊役の保護依頼を行います。

### ITSUMOを使用すると

位置情報がわかるので、保護するまでの時間がとても短くなります。

#### ② 訓練開始

徘徊役がスタートし、10分後に搜索役がスタート。



徘徊役

搜索役



#### ④ 講評

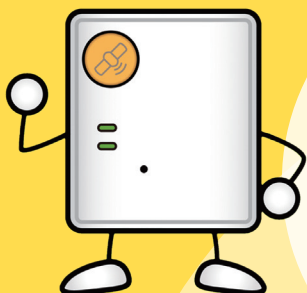
徘徊役・搜索役ともに本部に戻る。それぞれに感想を聞き、警察・消防・医師から講評いただく。



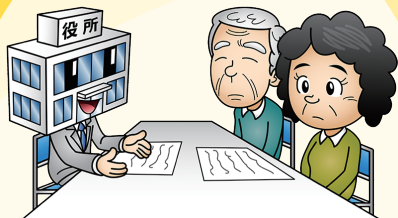
しかし、実際の現場ではいつでも保護に向かえる状況という事はありません。

そこで、近隣事業所に保護をお願いできる体制が作れることが重要になります。お願いするのは、介護事業所はもちろん、一般の事業所もできるだけ参加してもらえるとかなり意識改革につながると考えられます。(SOSネットワーク協力企業)

それぞれの立場にとって、  
この事業が  
どのような意味を持つのか



### 行政



活きたSOS  
ネットワークに！

### 警察



保護が行い  
やすい！



### 消防



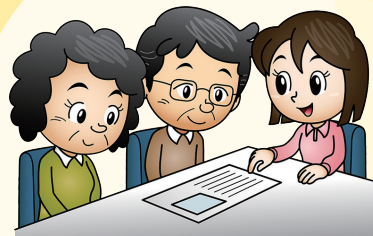
搜索の目安に  
できる！

### 医師



認知症の  
啓発ができる！

### SOS



一般企業も  
参加できる！

### 家族



地域で  
見守ってくれる！

### 本人



安心して認知症に  
なれる街！



**この提案ですべて問題が解決ではありません。**

iTSUMOにできることは「位置がわかる」だけ、わがまちで、それ以外の仕組みをどう構築していくのか、そのために様々な立場の方に参加していただき議論する必要があります。しかしながら、iTSUMOがあるからこそ、その検討ができるという事も事実です。そんなお役に立てるのなら、アーバンテックはいつも全力で応援させていただきます。



アーバン警備保障株式会社  
アーバンテック

〒634-0813 奈良県橿原市四条町 277-1-101



0120-126-178

<https://itsumono-gps.jp>  
Mail: info@itsumo-w.jp



あんしん介護の目印  
iTSUMO